

特別展

上村三代と

京都市立芸術大学

井上隆雄撮影 京都市立芸術大学
今熊野校舎「本館玄関、丸池」
京都市立芸術大学芸術資料館蔵



上村松篁《立葵》昭和46年(1971)京都市立芸術大学芸術資料館蔵

令和8年

3月7日[土]—

5月24日[日]

※4月13日一部展示替

- ◎開館時間：10時～17時（入館は16時まで）
- ◎休館日：月曜日（祝日、休日の場合は次の平日が休館）
- ◎入館料：大人（高校生・大学生含む）1,100円／小学生・中学生550円
- ◎主催：公益財団法人 松伯美術館、毎日新聞社



松伯美術館 検索

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号 TEL(0742)41-6666

上村松園・松篁・淳之 京都市立芸術大学との 生涯にわたる絆

上村三代は、日本最初の美術学校である京都府画学校から140年以上の歴史をもつ京都市立芸術大学の同窓生です。松園（1875～1949）は明治20年京都府画学校入学、鈴木松年の退職に伴い学校を去りますが、昭和15年に幸野樸嶺記念碑を京都市立絵画専門学校に建立する為に作品を描くなどしています。松篁（1902～2001）は、京都市立絵画専門学校（絵専）卒業、昭和11年絵専助教教授、以来43年までつとめ名誉教授となりました。淳之（1933～2024）は京都市立美術大学卒業、専攻科修了、昭和36～平成11年教員、名誉教授となり平成11～16年副学長をつとめています。そして松篁も淳之も、退官後も母校に関わっていきます。

また、京都市立芸術大学芸術資料館には上村三代ゆかりの収蔵品もあります。それらの一部を紹介すると共に、三代の人生の一面を知っていただこうと思います。



上村淳之《鴨》平成12年(2000)
京都市立芸術大学芸術資料館蔵



《松篁絵白鉢》二代伊東陶山
京都市立芸術大学芸術資料館蔵



上村松篁《花鳥》大正13年(1924)
京都市立芸術大学芸術資料館蔵
【展示期間】3月7日～4月12日

美術対談 京都市立芸術大学 松伯美術館
名誉教授 館長
榎原 吉郎 × 水野 収
令和8年 4月19日[日] 午後2時～3時



鈴木松年《鵲声福雲図》明治44年(1911)
京都市立芸術大学芸術資料館蔵
【展示期間】4月14日～5月24日



上村松篁《春立つ頃》大正10年(1921)
京都市立芸術大学芸術資料館蔵



幸野樸嶺《減筆花卉運筆模本》明治13年(1880)頃
京都市立芸術大学芸術資料館蔵



竹内栖鳳《牛》明治36年(1903)
京都市立芸術大学芸術資料館蔵
【展示期間】3月7日～4月12日

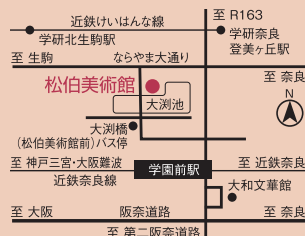


松伯美術館は、Googleが提供するGoogle Arts& Cultureに参加しています。当館所蔵作品の高解像度画像や360°のパノラマ画像「ミュージアムビュー」で館内の様子をご覧いただけます。

<https://artsandculture.google.com/shohaku> 検索

松伯美術館友の会

無料入館ほか様々な特典をご用意、皆さまのご入会をお待ちしております。



【交通のご案内】
近鉄奈良線「学園前駅」北口バスターミナル⑤⑥番のりばよりバスで約5分、「大洲橋（松伯美術館前）」下車、大洲橋を渡った右側。※駐車台数に限りがあるため、「電車・バス」のご利用をお願いします。

松伯美術館
SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号
TEL (0742) 41-6666

松伯美術館 検索

